

第 3 次文化振興計画 今年度の主な取組状況

(令和元年 6 月 24 日現在)

I ふれる、たのしむ～暮らしの中に文化芸術を感じることでできる環境をつくる～

あらゆる年代の市民や来街者が自分自身の体験として、また鑑賞者として、暮らしの中で自然に文化芸術に触れ楽しむことができる環境づくりを進めます。

1. 文化芸術の活動やイベントの充実

①市民の文化芸術活動支援

■市民文化祭

- ・第 62 回立川市民文化祭として、9 月から 3 月にかけて、文化団体や地域文化会が各々公演や作品展示を行うとともに、文化協会全体で「市民文化フェスティバル」(11/16(土)・17(日)展示の部、2/9(日)公演の部)を実施します。

■地域学習館まつり

- ・5 月から 3 月にかけて、社会教育関係団体等の発表・交流の場として、6 館の地域学習館で「地域学習館まつり」を開催します。

■アール・ブリュット立川

- ・アール・ブリュット立川実行委員会が、伊勢丹立川店(10/23(水)～28(月))をはじめ、多摩モノレール 5 駅構内(9/2(月)～30(月):高幡不動、10/1(火)～31(木):玉川上水・高松・泉体育館・砂川七番)と高松学習館(9/4(水)～16(水))のほか、タクロス立川 mini ギャラリー(10/3(木)～16(水))、立川市役所窓口サービスセンター(9/3(月)～10/31(木))で、アール・ブリュット展を開催します。

②文化芸術イベントの開催

■立川いったい音楽まつり

- ・ 5/18(土)・19(日)に開催された立川いったい音楽まつりには、約 300 団体 (H30・H29・H28 も約 300 団体) の参加があり、60,000 人 (H30 は 62,000 人、H29 は 58,000 人、H28 は 54,000 人) の来場がありました。
- ・ 5/12(日)には、たましん RISURU ホールでアメリカ空軍太平洋音楽隊パシフィックショーケースによる前夜祭ライブがあり、それを皮切りに「立川いったい音楽まつり week」として、市内各所で音楽イベントを開催し、まつりまでの1週間を盛り上げました。

■立川市民オペラ

- ・ 3/21(土)・22(日)には、立川市民オペラ 2020 オペラ「トゥーランドット」の上演があります。演奏は立川管弦楽団で、オーディションで選ばれたソリストとともに、オペラ合唱団やオペラ児童合唱団、助演として市民が出演するほか、スタッフとしても多くの市民が関わります。

■立川市地域文化振興財団の鑑賞事業・普及事業

- ・ 財団が、たましん RISURU ホールで、クラシックやポピュラー音楽、落語や演劇などの公演を実施するとともに、学習等供用施設や福祉施設など、市内各所で落語や音楽などの公演を行っています。

■立川シアタープロジェクト

- ・ 市は、財団、NPO 法人アートネットワーク・ジャパン（たちかわ創造舎）と実行委員会を組み、平成 28 年度に「立川シアタープロジェクト」を立ち上げました。地域の劇場文化の活性化と立川からの発信を目指しています。
- ・ 子どもと大人が一緒に楽しむ舞台 vol.4 として『イーハトーヴ童話集～ケンジのネコとトモダチに』（原作・宮沢賢治）を創作し、12/21(土)・22(日)に、たましん RISURU ホール・大ホールで上演します。また、関連企画として、たましん RISURU ホールの展示室やロビーなどで「よみしばい」を上演する「あちこちシアター」や子ども未来センターでプロの演出家や俳優の指導のもと子ども達が演劇を体験できるワークショップ「子ども未来エンゲキ部」を昨年度に引き続き実施し、物語や演劇の世界を深める取組も行います。

2. 文化芸術の活動や発表の場の提供

①市内公共施設や公共スペースの活用【重点取組項目】

■アイムホール

- ・財団が、女性総合センター・アイムのホールを活用して、落語やクラシックなどの文化事業を行っています。

■旧多摩川小学校

- ・たちかわ創造舎が、「インキュベーション・センター事業」「フィルムコミッション事業」「サイクル・ステーション事業」とともに、「コミュニティ・デザイン事業」として演劇など多様な文化創造活動を展開しています。
- ・放課後シアターとして、原則、月1回平日夕方に、大人も子どもも楽しめる「よみしばい」の上演（30分程度）を行っています。5月『青い鳥〜チルチルミチルの冒険』、6月『よだかの星』、7月『にんぎょ姫』、8月『すずむし姫』を上演（5月と8月はスペシャル版）。他の施設への出張公演も行っています。

■子ども未来センター

- ・子ども未来センターでは、指定管理者と石田倉庫のアーティストが連携して、「子ども未来センター美術部 美術部長はアーティスト」を7月・10月・2月に実施します。
- ・「ドラムサークル」や「舞台芸術ワークショップ」、「ヴァイオリン・グループレッスン講座」など、文化芸術活動支援事業を行っています。

②民間施設の文化芸術活動への活用推進

■サンクタス立川ギャラリー

- ・緑町にあるマンション「サンクタス立川」の西側壁スペースを、管理組合の協力を得て、ギャラリーとして無料貸し出ししています。今年度は改修工事の為現在貸し出しをしておりません。工事終了予定は令和2年1月の予定です。

Ⅱ はぐくむ、ささえる～子どもや若者の感性を育む、アーティストを支援する～

子どもや若者が文化芸術に触れる場や機会をさらに充実させるとともに、アーティストやボランティアなど文化芸術活動の担い手の育成・支援に取り組みます。

1. 子どもたちや若者が文化芸術に触れる機会の創出

①子ども対象文化芸術事業の積極的な開催【重点取組項目】

■小学生ファーレ立川アート鑑賞教室

- ・財団が、ファーレ立川アート鑑賞教室を実施。市民ボランティア団体のファーレ倶楽部が、市内全小学校の5年生にアート作品を案内します。

■小・中学校訪問事業等

- ・財団が、小学校訪問事業として、音楽（全19校）、落語（16校）、アート（2校）、ダンス（4校）のプログラムの提供を予定するとともに、小学生・中学生吹奏楽クリニックや小学校演劇体験事業を実施します。

■キッズ・ワークショップ等

- ・財団が、音楽や工作など3回程度の子どもの向けワークショップを実施します。

■こどものためのお箏教室

- ・平成29年1月より、毎月3回稽古を積み、令和2年1月5日（日）に発表会を予定しています。財団と（公社）日本三曲協会の主催。

②学生・若者等の文化芸術活動への参加促進

■国立音楽大学大学生によるアイムホールコンサート

- ・市と連携協定を締結している国立音楽大学の学生やOBによる演奏会について、女性総合センター・アイムのホールを無償で貸し出す制度を継続しています。

■文化芸術のまちづくり協議会自主事業

- ・11/16(土)に子ども未来センターとたましん RISURU ホールで行う、文化芸術のまちづくり協議会の「ワークショップ&ワークショップ edu」では、大学生などが子どもたちにワークショップのプログラムを提供します（30年度参加団体：国立音楽大学、白百合女子大学、実践女子大学、十文字学園女子大学、東京家政学院大学、東京工科大学、東京女子体育大学・東京女子体育短期大学、東京造形大学、福永紙工、武蔵野美術大学）。

2. 文化芸術の担い手の支援

①文化芸術に関わるボランティアの育成

■文化芸術のまちづくり協議会実施講座

- ・文化芸術のまちづくり協議会は、アートを応援して支える市民を育てる「アート・サポーター養成講座」として「レセプションист育成講座」や「市民ライター育成講座」を実施してきました。今年度は、講座内容をよりニーズに合ったものにするため、「文化芸術に対して市民がどんなサポートをしたいのか」「文化芸術団体がどんなサポートをしてほしいのか」などをリサーチし、マッチング効果の高い講座の企画を目指します。

②アーティスト活動の支援

■たちかわ創造舎のインキュベーション・センター事業

- ・たちかわ創造舎のシェア・オフィスには、3団体・1個人が入居し、校舎を利用した体験型演劇や市内各所での野外劇、中高生対象の演劇ワークショップ、チョークアートワークショップなど、地域の中での活動を進めています。

■多摩フレッシュ音楽コンサート

- ・東京多摩公立文化施設協議会主催のコンクール形式の「多摩フレッシュ音楽コンサート」を財団が実施。声楽部門とピアノ部門の受賞者のために、ソロリサイタルの機会を提供します。

■文化芸術のまちづくり事業補助金

- ・今年度は7月5日（金）まで申請を受け付け、8月6日（火）に審査会を行います。平成30年度は申請8団体のうち7団体が、文化芸術のまちづくり事業補助金・奨励金の交付対象となりました。

■アート・マーケット

- ・財団が、立川市内・多摩地域を活動拠点としているアーティストの作品を紹介することを目的に、作品の展示・販売をたましん RISURU ホール・ロビーで開催。今年度は2回予定。

■市役所ロビーコンサート・水曜コンサート

- ・財団が実施する、たましん RISURU ホールの水曜コンサートや市役所ロビーコンサートに、国立音楽大学の学生や若手アーティストに出演していただく予定です。

Ⅲ つたえる、つなげる～文化芸術の息吹を伝え、その波と輪を広げていく～

文化芸術活動の継続的発展やまちの魅力向上を目指し、文化芸術に関する情報の積極的な発信、文化財保護や伝統文化継承支援、団体間のネットワーク化に取り組みます。

1. 文化芸術を伝える取組

①文化芸術を生かしたシティプロモーションの展開【重点取組項目】

■ファーレ立川アート保全・活用事業

- ・街区のビル所有者や市民団体のファーレ倶楽部、市などで構成するファーレ立川アート管理委員会が、作品の保全のほか、写真コンテストや街区の勤務者向けアートツアーなどを実施。
- ・街区を美術館に見立てた複合イベント「ファーレ立川 アートミュージアム・デー」を10/12(土)・13(日)と3月に開催予定です。
- ・その他、作品案内アプリ「ファーレ立川アートナビ」や多言語のパンフレット、関連グッズなどを活用した周知や留学生を対象にしたモニターツアーなどに取り組みます。

■立川まんがばーく

- ・平成30年度の立川まんがばーくの利用者数は、103,598人でした。アシスタント背景美塾の協力で、まんがの描き方などまんが関連のワークショップを開催しています。

■立川駅西地下道壁面アート化事業

- ・平成29・30年度の2年間の事業として、武蔵野美術大学と連携し、アール・ブリュット作品を取り入れて、立川駅西地下道のアート化に取り組みました。ライブペイントやワークショップ、関連イベントなどに、年代や障害の有無を超えて様々な方が参加しました。

②文化財・伝統文化の継承、市史の編さん

■歴史民俗資料館・古民家園

- ・歴史民俗資料館・古民家園で、体験学習会等を22回、企画展等を13回程度開催します。また、地域の高等教育機関や市民団体との連携事業を8回程度開催します。

(30年度：体験学習会等22回、企画展等を13回程度、連携事業8回)

■よいと祭り

- ・今年度のよいと祭りは、8/3(土)にサンサンロードで開催予定。実行委員会に助成するとともに、協働事務局を財団が担っています。令和元年を祝した特別ゲストによるステージや、みこしやお囃子のパレードなどを実施します。パナムスポーツ交流プロジェクトが主催するサンバのパレードなども予定しています。

■伝統文化親子教室事業支援

- ・お囃子や獅子舞などの市民団体に対し、東京都の伝統文化親子教室事業補助金の申請を支援しています。

■市史編さん事業

- ・先史、古代・中世、近世、近代、現代、民俗・地誌の6部会が、巡見や資料の調査・収集、古老や関係者からの聞き取りにあたりるとともに、資料編「絵図・地図編」、調査報告書「向郷遺跡・竹内勇貴氏寄贈資料調査報告書」、「砂川青年団資料集」を刊行しました。引き続き、資料収集や整理調査を進め、令和元年度は、資料編「古代・中世」「現代1」「民俗・地誌1」を刊行します。先史部会では、市内の古墳についてレーダー探査を実施し、地下の状態を確認します。また、近世部会では、市民団体と古文書輪読会を持ち、資料の解説を行うなど編さん作業への市民参加にも取り組みます。
- ・事業の周知のために、9月と3月に広報紙「たちかわ物語」を発行し、1月に関連講演会を実施します。

2. 文化芸術のネットワークを広げる取組

①多様な主体との連携や交流の促進

■文化芸術のまちづくり協議会自主事業

- ・11/16（土）に行う「ワークショップ&ワークショップ edu」では、プログラムを提供した周辺大学などを対象に情報交換の場を設け、交流を深めます。

■たちかわ創造舎

- ・たちかわ創造舎では、多摩エリアを中心に文化を担う個人や団体、地域の方々と事業の実施等を通じた連携・交流が始まっています。

②文化芸術に関わる情報のプラットフォームづくり

■文化芸術のまちづくり協議会ホームページ

- ・平成26年度に立ち上げたホームページ「TACHIKAWA BILLBOARD」で、アーティストやイベント、地元企業の歴史などの紹介を行っています。
- 平成30年度から、アートサポーター養成講座に参加した市民レポーターが情報発信に参加しています。